

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
相談援助実習指導Ⅱ Guidance in Fieldwork of Social Welfare II		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		選択 (社会福祉士国家試験受験資格取得必修)	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
相談援助実習指導Ⅰ、社会福祉士受験資格指定科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
中島 佳子	栄養棟3階	月～木の授業以外の時間		授業中に指示します
授業の概要				
夏期休業中の見学・体験学習を振り返りを行い、Ⅰ期相談援助実習につなげる。自己紹介書や実習計画書の作成を通し、自己覚知、自分の目指す援助・社会福祉士像のイメージ作りに取り組む。また相談援助実習指導Ⅰで学んだ知識を活かし、公的な書類作成に取り組む。				
授業の到達目標				
①見学・体験学習の報告会を行うことができるようにする。 ②実際に実習を行う実習分野（利用者理解）と施設・事業者・機関・団体・地域社会・職種等に関する基本的な理解を深めることができるようにする。 ③自己紹介書を作成することができるようにする。 ④実習生、実習担当教員、実習指導者との三者協議を踏まえ、学生は実習計画書を作成することができるようにする。				
授業の方法				
講義および演習。各課題の前に随時講義を行う。その後、演習（自己紹介書・実習計画書の作成の個人ワーク）を行う。				
学習の成果				
①実習施設・機関に関する理解を深めることができる。 ②自己紹介書を作成を通じて、自己覚知、自己アピールの方法、対象者別の自己紹介方法について習得することができる。 ③自分なりの実習目的、具体的達成課題を立案し、実習計画書を作成することができる。 ④実習記録への記録すべき内容の取捨選択、読み手に配慮した適切な日本語表現を習得する。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（シラバスに沿って授業の流れの説明）・現場体験学習報告会発表準備			
第2回目	現場体験学習報告会			
第3回目	相談援助実習の達成目標について・実習施設選定作業・面接			
第4回目	実習施設選定作業・面接			
第5回目	領域別グループ学習：実習のイメージ作り			
第6回目	領域別グループ学習：実習領域の政策動向等の理解			

第7回目	領域別グループ学習：ソーシャルワーカーの職種・役割・倫理	
第8回目	自己紹介書の作成	
第9回目	自己紹介書の作成・実習計画書の作成	
第10回目	実習計画書の作成①	
第11回目	実習計画書の作成②	
第12回目	実習関係書類の準備・必要書類の説明・細菌検査について	
第13回目	事前訪問について	
第14回目	実習記録の書き方	
第15回目	実習記録の書き方・事前オリエンテーション	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
		評価の基準
授業参加態度	60%	実習へ向け、学習や課題に取り組む姿勢、学習状況等を総合的に評価する。
レポート	40%	自己紹介書・実習計画書等課題の完成度を点数化して評価する。詳細は授業内で説明する。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
教科書：ミネルヴァ社会福祉士養成テキストブック「相談援助実習」川延宗之他／ミネルヴァ書房（相談援助実習指導Ⅰと同様）		
履修上の心得・ルール		
実習に関する諸連絡があるため授業は必ず出席すること。欠席した場合は、内容をクラスメイトに確認し、書類や課題は次回授業までに担当教員まで取りに来ること。課題の提出期限は厳守する。		